

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.0	
Q1 室内環境					0.40		-	3.2	
1 音環境				3.0	0.15	2.6	1.00	2.9	
1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.40	3.0	0.40		
1.2 遮音		—		3.0	0.40	3.0	0.40		
1 開口部遮音性能		—		3.0	0.40	3.0	0.30		
2 界壁遮音性能		—		3.0	0.60	3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		—		-	-	3.0	0.20		
1.3 吸音		—		3.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				3.0	0.35	3.0	1.00	3.0	
2.1 室温制御		—		3.0	0.50	3.0	0.50		
1 室温		—		3.0	0.38	3.0	0.57		
2 外皮性能		—		3.0	0.25	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		—		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		—		3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式		—		3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				2.6	0.25	4.1	1.00	2.9	
3.1 昼光利用				1.8	0.30	4.2	0.30		
1 昼光率		居室1.8%		1.0	0.60	5.0	0.60		
2 方位別開口		—		-	-	-	-		
3 昼光利用設備		—		3.0	0.40	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				3.0	0.30	4.0	0.30		
1 昼光制御		ブラインドと庇を組み合わせて昼光制御を行っている		3.0	1.00	4.0	1.00		
3.3 照度		—		3.0	0.15	3.0	0.15		
3.4 照明制御		各居室の照明についてはベット単位での照明制御が可能		3.0	0.25	5.0	0.25		
4 空気質環境				4.0	0.25	4.2	1.00	4.0	
4.1 発生源対策				5.0	0.50	5.0	0.63		
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建材を採用、VOCについても配慮されている		5.0	1.00	5.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量		—		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能		—		-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		—		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		—		1.0	-	-	-		
2 喫煙の制御		—		3.0	1.00	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		3.0
1 機能性				2.8	0.40	4.2	1.00	3.1	
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		個室面積12.9㎡で計画		-	-	5.0	1.00		
2 高度情報通信設備対応		—		-	-	2.0	-		
3 バリアフリー計画		—		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30	3.0	0.40		
1 広さ感・景観		—		-	-	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース		—		-	-	-	-		
3 内装計画		—		3.0	1.00	3.0	0.50		
1.3 維持管理				2.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		—		3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		—		2.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				3.1	0.30	-	-	3.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		—		3.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能		—		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		—		3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		—		2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		壁:ビニルクロス仕上		5.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		—		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水・給湯:C 排水:Bを採用		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		全熱交換器を採用		4.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.0	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		—		3.0	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		—		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		—		3.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		—		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		—		3.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		2.8	0.30	2.7	1.00	2.7
	3.1 空間のゆとり		2.4	0.30	2.4	0.50	
	1 階高のゆとり	—	2.0	0.60	2.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	—	3.0	0.40	3.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり	—	3.0	0.30	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	—	3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	—	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.7
1	生物環境の保全と創出	—	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	—	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	—	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.1
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.1
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPlm=0.78	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用	—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	—	2.8	0.50	-	-	2.8
	集合住宅以外の評価		2.8	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
4	効率的運用		2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	—	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	—	1.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	—	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	—	-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0
1	水資源保護		3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水	—	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.0	0.60	-	-	3.0
	2.1 材料使用量の削減	—	2.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	—	3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	—	2.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	下地に軽量鉄骨を使用している	4.0	0.20	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	—	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	—	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	—	3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	—	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	LCCO2=77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2	地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
	2.1 大気汚染防止	—	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	—	2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	—	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	管理用車両の駐車場確保がなされている	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	—	2.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.2	0.33	-	-	3.2
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	—	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	—	-	-	-	-	
	3 悪臭	—	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	—	3.0	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	—	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		4.4	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	「光害対策ガイドライン」「広告照明の扱い」の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
	2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	2.0	○	－	－	○	○	－	－	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		○	－	－	－	○	－	－	－	－	○	－	－	－
1.3.2 維持管理用機能の確保	2.0		－	－	－	－	○	－	－	○	－	－	－	－	－
2.4.1 空調・換気設備	1.0		○	－	○	－	－								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	－	－	－	－	－	○						
2.4.3 電気設備	1.0	1.0	○	－	－	－	－	－							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		－	－	○	○	－	－							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	6.0		－	－	2.0	－	－	1.0	1.0	－	1.0	1.0	－		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	－	－	－	－							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	3.0		－	－	1.0	1.0	1.0	－	－	－					
3.2 敷地内温熱環境の向上	11.0		2.0	2.0	1.0	3.0	1.0	－	－	2.0	－				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			－	－	－	－	－	－	－	－					
2.1 材料使用量の削減	－		－	－	－										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			－	－	－	－	－								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	－	－	－									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	－														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	5.0		1.0	－	－	－	3.0	－	－	1.0	－	－			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	－	1.0	1.0	－	－							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	2.0		1.0	1.0	－	－	－	－							
2.3.2 砂塵の抑制	2.0		2.0	－											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0		2.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC		窓の日射熱取得率(η)		
U値(W/m2K)	窓システム	屋根	外壁	床
住戸部分	窓システムU値	外皮UA値	η AC	η AH
昼光率	1.8%			
自然換気有効開口面積率				

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	－	/人	病床	12.9㎡/床	シングル	－	ツイン	－
--------	---	----	----	---------	------	---	-----	---

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	－	VA/㎡
---------	---	------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	－	m
-----	---	---

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	－	レストスペース	－
------------	---	---------	---

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	－	年
--------	---	---

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	－	年
--------	---	---

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20	年
--------	----	---

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	20	年
--------	----	---

3.1.1 階高のゆとり

階高	－	m
----	---	---

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	－	
-------	---	--

3.2 荷重のゆとり

床荷重	－	N/m2
-----	---	------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	－	建物緑化指数	－
--------	---	--------	---

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	－	水平投影面積率	－	地表面対策面積率	－	舗装面積率	－
-----	---	---------	---	----------	---	-------	---

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.78	断熱等性能等級	対象外 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	－	MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
--------------	---	-------	-----------	------	-----------	------

通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%
-----------	------	-----------	------

太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
-----	------	------	------	-----	------

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

BEI/BEI _m	再エネ有	0.72	無	0.72	オフサイト再エネ有	－	－
----------------------	------	------	---	------	-----------	---	---

集合住宅の評価

一次エネ削減率	再エネ有	無					
---------	------	---	--	--	--	--	--

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	－
-------	---

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	－	エコマーク商品	－	自治体指定の特定品目等	－
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	－
------	---

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	地球温暖化係数(GWP)
---------------	--------------

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	－	隣棟間隔指標R _w	－
-------	---	----------------------	---

地表面対策面積率	－	屋根面対策面積率	－	外壁面対策面積率	－
----------	---	----------	---	----------	---

見付面積S _b	－	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	－	m	基準高さH _b	－	m
--------------------	---	------------------------------	---	---	--------------------	---	---

緑地	㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡
----	---	----	---	--------	---	--------	---	----------	---